

### 第35回 小野派一刀流流祖忠明旗争奪関東小学生剣道大会 開催要項

1. 主 旨 小野派一刀流の流祖である小野次郎右衛門忠明を後世に伝えるべく剣道大会を開催し、剣道を通じて心身の練磨と相互の調和と親睦を図り、もって青少年の健全なる育成に努める。
2. 主 催 南房総市・南房総市教育委員会
3. 主 管 小野派一刀流流祖忠明旗争奪関東小学生剣道大会実行委員会
4. 後 援 (一財)千葉県剣道連盟 南房総市スポーツ協会  
安房剣道連盟 館山剣道連盟 長狭剣道連盟
5. 期 日 令和6年2月25日(日)
6. 会 場 南房総市富浦体育館
7. 参加資格 健康上支障ないと認められた小学生(原則4年生以上)で責任者及び帯同審判員がおり、千葉県内の案内された団体。
8. 参加基準
  - (1) 各団体1チームを原則とする。  
※重複する代表者・責任者・監督および帯同審判員は認めません。
  - (2) 1チーム選手6名以内、監督1名にて構成する。(男女混合可)  
チーム編成は当日提出するオーダー表とする。  
選手3名の場合 先鋒・中堅・大将  
選手4名の場合 先鋒・中堅・副将・大将とする。
  - (3) 参加チームはスポーツ安全保険等に加入していること
9. 参加申込
  - (1) 申込方法 大会ホームページ・郵送・Eメール・FAX
  - (2) 参加費 1チーム 4,000円
  - (3) 申込先 〒299-2592  
千葉県南房総市岩糸 2489  
南房総市教育委員会生涯学習課 大会事務局  
TEL 0470-46-2964 FAX 0470-46-4059  
E-mail sports@city.minamiboso.lg.jp
  - (4) 申込締切 令和6年1月5日(金) 必着
  - ※(5) その他 新型コロナウイルス感染症等拡大により大会を中止する場合があります。

10. 競技規定 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び同細則並びに本大会要項による。

#### 11. 試合方法

- (1) 試合は予選リーグ及び決勝トーナメントで実施する。
- (2) 試合は3本勝負とし、試合時間は2分、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。但し、準決勝戦・決勝戦については、1分間の延長戦を1回行う。なお、延長戦はチームの勝敗が決した場合は行わないものとする。
- (3) 予選リーグでチームの勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (4) 予選リーグは、勝ち2点、引き分け1点、負け0点とし、得点、勝者数、取得本数の順で予選リーグの順位を決定する。
- (5) 予選リーグで順位が決しない場合、任意選出による代表者戦によって順位を決定する。
- (6) 決勝トーナメントにおいて勝者数、取得本数が同数のときは、任意選出による代表者戦によって勝敗を決定する。
- (7) 代表者戦は1本勝負とし、時間は区切らず勝敗の決するまで行う。

#### 12. 審判員

- (1) 審判は、安房剣道連盟・館山剣道連盟・長狭剣道連盟審判員及び参加チームからの推薦による審判員で行う。
- (2) 参加チームは、必ず審判員を1名以上推薦すること。  
審判員の推薦は、四段以上もしくは審判技術を有する三段以上の者とする。
- (3) 試合当日、推薦した審判員が参加できないときは、代替りの審判員を帯同させること。

**※帯同審判を選出できないチームは、参加を認められません。厳しい大会運営を強いられているため、各チーム1名以上の審判員選出にご協力をお願いいたします。**

- (4) 審判旗は各自持参して使用する。

#### 13. 表彰

- (1) 優勝チームに優勝旗・優勝杯及び賞状と各選手にメダルを授与する。
- (2) 準優勝及び第3位（2チーム）に盾及び賞状と各選手にメダルを授与する。
- (3) ベスト8のチーム（4チーム）に盾及び賞状を授与する。
- (4) 大会本部が選出した優秀選手5名に賞状及び記念品を授与する。

#### 14. その他

- (1) 選手の変更は、病気・怪我の場合のみ当日受付をする。
- (2) チームの指導者または保護者が選手を引率すること。
- (3) 参加者は赤白の目印を用意すること。
- (4) 参加者はチーム名が記入された名札を着用すること。
- (5) オーダー表（模造紙4つ折大）を持参し、受付時に提出すること。（オーダー表の書式参照）

- (6) 申込後に参加を取り消す場合には、文書等により大会事務局に連絡すること。
- (7) 参加費は、大会参加案内に記された納付先に納付すること。  
なお、一度納入した参加費は返金いたしません。
- (8) 競技中における選手及び審判等の負傷事故については、応急処置のほか傷害保険加入の範囲においてのみ補償し、その他一切の責任は負いません。
- (9) 会場の都合により会場内は無観客とする。
- (10) 会場に入場できるのは出場選手、監督、審判員、役員、来賓、許可を得た報道機関、帯同者1名とする。ただし、帯同者は2階のみとする。

#### ※1. 大会への出場・参加について

- (1) 以下に該当する者は出場（関係者は参加）できない。
  - ①基礎疾患のある者 基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。ただし、これらの者が出場（参加）を希望する場合は、主治医の承認を得るものとする。
  - ②発熱のある者（個人差があるが、一般的には 37.5 度以上ある者をいう）。
  - ③咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者。
  - ④同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ⑤過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

#### 2. 日常生活における感染予防

選手・大会に参加する関係者へは、ワクチンの 3 回の接種を推奨する。そして、普段の生活の中で、最大限の感染予防に努め、特に以下の点を 遵守する。また、その家族、近親者においても協力を求める。

- (1) 3 密（密集・密閉・密接）を避ける。
- (2) 手洗い・消毒、フィジカル・ディスタンスの確保を励行する。
- (3) 窓などの開放による室内の積極的な換気を励行する。 マイクロ飛沫が、屋内に長時間滞留することのないよう、窓やドアなどを可能な限り開放し、換気扇や扇風機等の積極的な使用により、空気が十分に流れるようにする。
- (4) 選手・大会に参加する関係者は、発熱や咳、倦怠感等の特有症状を認めた場合には、出勤（通学）見合わせ・早退・医療機関の受診などの対応を速やかに行うこととする。

#### 3. 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応

##### (1) 発熱した場合

###### ①体温が 37.5 度以上の場合

選手、大会に参加する関係者（以下同じ）は、起床時の検温で 37.5 度以上であった場合および前述の症状が見受けられた場合には、医療機関を受診し、医師の判断を仰ぐ。

###### ②37.0 度以上の体温が 2 日間続いた場合

起床時、もしくは就寝時の検温で、37.0 度から 37.4 度が 2 日連続で続いた場合も、上記と同様とする。

○. 申込規約 以下の申込規約に同意の上、お申込みください。

- (1) 荒天・地震・風水害・事件・事故・疫病等の拡大による大会中止の場合、参加料は返金いたしません。
- (2) 心疾患・疾病等なく健康に留意し、十分な稽古をして大会に臨み大会当日、体調が不調な場合は出場を辞退してください。
- (3) 大会開催中に疾病が生じた場合、応急手当を行いますますがその方法、経過等について主催者は責任を負いません。
- (4) 大会開催中の事故・傷病・紛失・盗難等に関し、主催者の故意または重大な過失によるものを除いて、一切の責任を負いません。
- (5) 大会開催中の事故・傷病への補償は主催者が加入した保険の範囲内となります。
- (6) 年齢・性別等の虚偽申告、申込選手以外の出場は認めません。それらが発覚した場合、出場・表彰の取り消し、次回以降の参加資格はく奪等、主催者の決定に従ってください。
- (7) 大会の映像・写真・記事・記録等（氏名・年齢・性別・肖像等の個人情報）が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・プログラム等に報道・掲載・利用される事があります。また、掲載権・使用権は主催者に属します。
- (8) 感染症予防対策を目的として、個人情報を大会主催者及び保健所・医療機関などの第三者へ提供することがあります。  
(感染症予防対策以外の目的には使用しません)

## オーダー表の書式

模造紙を縦置きにして、4等分に切りそのうちの1枚を使用します。

横（790mm）

団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

縦（1090mm）

- ・ 字体は黒字で明確に読み取れるように記入
- ・ 一番左に団体名を記入
- ・ 団体名の次に先鋒から大将までを記入
- ・ 4名の際は次鋒を空欄、3名の際は次鋒と副将を空欄
- ・ 姓が同一の場合は名前の一文字目を姓の右下に記入